

令和元年度 第2回 「宇都宮市民大学運営協議会」議事録

- 1 開催日時 令和元年8月1日(木) 午前10時30分～正午
- 2 開催場所 人材かがやきセンター 研修室(中央生涯学習センター5階)
- 3 出席者 委員 10名(別紙参照)
事務局 9名(生涯学習課)
増淵課長, 今井課長補佐, 藤田係長, 泉総括, 高田専任,
加藤社会教育主事, 若林社会教育主事, 古谷主任主事, 佐藤主事
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人 0人
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶
 - (3) 議題
 - ① 令和元年度宇都宮市民大学前期講座の実施状況について
 - ② 令和元年度宇都宮市民大学後期講座の実施について
 - ③ 合同開講式・公開講座の見直しについて
 - ④ 令和2年度宇都宮市民大学の実施について
 - (4) その他
 - (5) 閉会
- 7 会議資料 別添資料参考
- 8 議事の経過

①令和元年度宇都宮市民大学前期講座の実施状況について

川本会長 ご意見, ご質問があったらお願いしたい。

島田副会長 募集定員について聞きたい。別紙2の「栃木の女性たち」は, 募集定員が50名, 受講決定が47名, 受講者数が43名だが, この差は決定後に受講しなかったということか。

事務局 受講決定後, 公開講座の期間まではキャンセルできる。受講者の都合が悪くなった, 8回継続して受講する日程の調整がつかなくなった等の理由でキャンセルを受けている。受講開始時の数字が受講者数である。

島田副会長 「明治維新」は, 応募123名と多い。実際の受講者は79名だが, 受けなかった方がたくさんいたはずである。キャンセル発生後, 落選した方に再度申し込みの声かけはしているのか。

事務局 毎回キャンセルが出ることを踏まえ、多めに受講決定している。部屋の受講環境は80名が限界で、ボランティアスタッフもあり、全体で90名を超えるので、あらためてキャンセルの方への連絡は行わずに80名程度での開催となった。

島田副会長 ありがとうございます。

川本会長 ほかにあるか。

小針委員 募集定員が310人で、修了者数がそれを超えて316人ということは素晴らしかったということではないか。参考1のグラフが丁寧に出してあり、性別をみると男性がやや多いが、女性も多く受講していてバランスがよい。資料1-2をみると①「栃木の女性たち」③「人生100年」は女性が多い。④「南極大陸」は半々。②「明治維新」⑤「江戸の科学力」⑥「三国志」は男性が多い。一生懸命やっていることで全体のバランスがとれていったのかと感じた。関心の高さをみると、「南極大陸」と「三国志」がすごく高い。なかなか聴けない地球の一部ということと、昔の歴史は関心が高い。ここから日常に考えを引っ張っていくための土台として吸収されていると思った。「三国志」は先ほどの事務局の説明にもあったが、受講者感想として「難しい」がすごく多い。「難しい」という答えが多いのに満足度もすごく高いということは、高度なものを求めているということが確認できた。市民大学として高度なものを提供する方向性は、常に追求していくといいのではないか。最終的に③「人生100年時代」は、学んだ成果を地域に活かすという市民大学の狙いに合致したということですごくよかったと思う。今後も、市民大学の狙い、高度なものを学びたいというニーズ、そして成果とのバランスをどのようにとらえるか、考えていったほうが良いと思った。

事務局 ありがとうございます。

川本会長 大山委員どうぞ。

大山委員 「三国志」を企画したのだが、土曜日という難しさがあつた。県民の日やイベントが多く、梅雨時で雨も多く難しかった。土曜日は魅力のある企画をたてて、イベントに負けない企画をこころがけていきたい。講師の都合と、若者を期待しての土曜日だったが、新規4名はすべて中高年。若者は1人もいなかった。もともと市民大学講座の認知が、若者ではなく中高年がターゲットという認識が高いのではないか。若者は、関係ないと思っているので、市民大学までたどりつかない。SNSを検討しているようだが、若者のための市民大学という、別枠のアプローチのしかたもあるのではないか。こ

れから企画を考えていきたい。

川本会長 ありがとうございます。長谷川委員どうぞ。

長谷川委員 さきほど島田副会長からもあったように、受講者数が定員数や受講決定数より減っている時は定員になるように、空きが出たのでいかがかと声かけをした方がよいのではないかと。今回終了率も非常に高く素晴らしい講座だったと感じた。

川本会長 ありがとうございます。おそらく事務局も「明治維新」の定員80名を超えて受講決定しているので、タイミングの問題もあると思うがいかがか。

事務局 キャンセルの申し出は、公開講座の直前に多い。以前は落選者に電話連絡して希望する場合は繰り上げにより受講決定も行っていたが、期間が短いと電話での連絡がつかずに時間切れとなってしまうことが多くあった。受講したい希望があるということも踏まえて、今後はキャンセルの手法について事務局も検討し、次につなげていくように工夫していきたい。

川本会長 ありがとうございます。それでは、令和元年度宇都宮市民大学講座の実施状況について承認いただけるか。承認ありがとうございます。

②令和元年度宇都宮市民大学後期講座の実施について

川本会長 意見はあるか。

阿部委員 10月25日の公開講座はテレビにも出る杉田昭栄先生に講義いただく。カラスのおもしろい生態を聴けるのではないかと。専門講座は杉田先生の教え子の塚原先生が、カラスの鳴き声について研究しているのでそういった話も聴けるのではないかと。どうぞよろしくお願いします。

川本会長 よろしくお願いします。それでは、後期講座の実施について承認いただけるか。

一同 異議なし

川本会長 ありがとうございます。

③合同開講式・公開講座の見直しについて

川本会長 この課題についてはアンケートをもとに事務局で案を作ってもらった。合同開講式と公開講座2つの見直しだが、まずは合同開講式についての意見質問はあるか。

川島委員 合同開講式を廃止するという課題だが、実際に参考1をみると出席率が50%。終了率が一気に高まったのは公開講座の出席を省いた今年度から

の取り組みがこのようになったということなので、当然のことながらこのような対応は仕方がないと思う。

川本会長 ありがとうございます。私からの質問ですが、市民大学の学長（市長）のメッセージは、ビデオか紙か。配布するとなっているがビデオの方がよいのではないか。

事務局 ビデオでみなさんに見てもらおうと考えてはいるが、欠席者もいるので文章の配布も有効ではないか。詳細については今後詰めていきたいが、今日の意見も参考にする。

川本会長 他に意見はあるか。なければ合同開講式は事務局プランということでよいか。はい、ありがとうございます。では、公開講座の意見はあるか。

川島委員 最初の説明の課題のところ、過半数は出席していないことと、不満が出ているということなので、何かしらの対応は考えていかなければならないという話の流れになっているが、単に廃止をするということではなく、独立した講座として年1回に減らして善後策を作って、公開講座の意味を活かしていくということなので、2つの課題を解決するためにはこのような方法でよいのではないか。

川本会長 ありがとうございます。野中委員どうぞ。

野中委員 合同開講式について、事務局が熟慮されたうえでの決定なので尊重したいが、感想の中には肯定的な意見もあるので、逆になぜやらないのかという不満の声もでてくると思う。理論武装をして対応してもらいたい。

川本会長 はい。江田委員どうぞ。

江田委員 公開講座についていろいろなやり方があると思うが、著名人を招いての公開講座はインパクトがあるので賛成だ。

川本会長 ありがとうございます。小針委員どうぞ。

小針委員 公開講座の前回の評価をみると、いい方の意見は97%。非常に満足度が高かったが、合同開校式があるにもかかわらず、参加者は受講者の半分であった。参加者の割合が男性女性と講座によってわかれるように、関心の問題ではないか。関心の高い人がしているから、その人たちの評価はとてもよい。しかし、全員に来てもらうのには限界がある。それが大人の学びということなのかもしれない。一方で、一堂に会う良さもある。次回の南図書館での開催は行きやすくて場所的にはいい案だと思うし、カラスの話も関心があると思うので参加率が楽しみだ。

川本会長 はい、長谷川委員どうぞ。

長谷川委員 公開講座という形で合同開講式がなくなるのは、前から気にかけていたことなので非常にいいと思う。開催時期が年度末なので、前期と後期の間など一度試してやってみて、時期も検討する必要があると感じた。

川本会長 島田副会長どうぞ。

島田副会長 賛成する人もいるし反対もいるので、この形で一度実施した方がいいと思う。2月の実施よりも少し早めの方がいいのではないかと。やってみて検討してほしい。

事務局 2月の実施については初の試みではあるが、専門講座の前期後期も終わり、新たな翌年度の前期の申し込みが4月の初旬でもあり、新たな受講者に関心を持ってもらうには、生涯学習のイベントが少なくなっているこの時期にかえっていろんな方が興味を持って来てもらえると思い、試みている。今話がでたように、出席数は事務局が狙っているような受講者の獲得につながらないかもしれないので、回を重ねるごとに見直しを行い、よりよい講座にしていきたいと考えている。

川本会長 ありがとうございます。私の意見としては、今回の改定は非常によいと思う。時期の問題などはいろいろあるが、心配なのは500円で第一人者がよべるのか。別紙3の参考資料は高い金額なので、500円にした場合は不足分をどこから出すのか。1000円など柔軟に考えればと思う。もう一つは色々な年代の方に来てもらいたい。専門講座は高齢の方で定着しているが、公開講座は色々な方が来られるような講座を企画してほしい。

それでは実施要領を含めて見直しについて承認いただけるか。ありがとうございます。実施要領の（案）の案を消してください。

④令和2年度宇都宮市民大学の実施について

川本会長 意見質問はあるか。

大山委員 積極的に土日や夜間に実施するということが、私はボランティア活動が9年になるが、駆け出しのころ夜間に若者を対象に、講座をもったことがある。市民大学というのは、人生を深めた方が教養を高めるという視点だと思うが、若者をよぶにはどうしたらいいのか。これから生きる方だから、職業に密着したものとかビジネスとかイラスト漫画系などに特化すれば若者が関心をもつのではないかと。市民大学では夜間の設定がなかったので、考えてみたいと思っている。色々な方向性を試す価値はあると思う。

川本会長 ありがとうございます。公開講座の実施が2月頃ということだが、大学生は2月の初めはまだ試験がある。そのような学生を集めようとするならば、2月のおわりや3月の初めがよいのではないか。

 令和2年度宇都宮市民大学の実施について承認いただけるか。ありがとうございます。それでは資料の（案）を消してください。

⑤その他

事務局 10ページ別紙3で受講料は500円としたが、会長の発言をふまえて、原則500円以上や有料などの表現で、幅をもたせた内容で対応していけるような修正でもよいか。

川本会長 みなさん承認いただけるか。承認ということで。

事務局 ありがとうございます。修正したものを第3回の時に配布する。

川本会長 全体を総括してほかにあるか。

島田副会長 市民大学の講座を終えて、今回はこういうのを聴きたいなどのアンケートはとっているのか。

事務局 はい、とっている。アンケートの一部だが今回の資料に載せているもののほかに、どのような講座を希望する等もとっていて、前期講座が終わって間もないのでまだ閲覧している途中である。丸をつけるアンケートもあるが、具体的に記入する欄も広くある。こういう理由で講座を聴きたい、こういうことに興味がある、市民大学ではこのような話を聴いてみたいなどの意見がある。

島田副会長 わかった。